

## 第 17 回 教育委員会 会議録 ( 要点 )

日 時	令和 3 年 10 月 8 日 ( 金 ) 10 時
場 所	庁舎第 3 別館 2 階 会議室
出席委員	教育長 田坂敏、委員 山本泰正、委員 越智一博、 委員 西原梨乃、委員 仁志川由香里
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 山本啓司、総務課長 片上裕之、 学校教育課長 門岡達也、社会教育課長 結田信吾 文化振興課長 波頭健、スポーツ振興課長 松本典久 学校給食課長 越智淑人、総務課長補佐 渡部信一
傍聴人	なし
議 題	議案 議案第 49 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について その他 1 今治市大三島分校・伯方分校サポートチーム設置要綱の制定について 2 今治市子ども読書活動推進委員会設置要綱の制定について  10 時、開会を宣す
田坂教育長	日程番号 1、9 月教育委員会の会議録を承認してよいか問う
一各委員一	承認する
田坂教育長	日程番号 2、会議録の署名委員に、山本委員、越智委員を指名する
田坂教育長	日程番号 3、教育長報告を行う
田坂教育長	教育長報告でございますが、まず、9 月 1 日からの今治市議会定例会での教育委員会にございました一般質問についてご報告させていただきます。  9 月 6 日に、上村悦男議員より、「学校評価」について、「各学校から提出のあった学校評価に関する報告書から、市内の学校

の現状と課題をどのようにとらえているのか」、それから、「今後、学校評価をどのように活用し、学校に対する支援や条件整備の充実に繋げていくのか」という2点のご質問がございました。まず、一点目の「学校評価の結果から見た学校教育に関する今治市の現状と課題」につきましては、昨年度、学校から提出された、学校評価報告書から、全体的に「主体的・対話的な学習活動の場の設定」、「地域と連携した体験活動の充実」、「家庭学習習慣の定着」、「基本的な生活習慣の定着」の項目において、学校の自己評価が低く、コロナ禍による教育活動の制限が大きく影響しているものとお答えし、一方で、「授業改善への取組」の自己評価が高くなっていることから、コロナ禍でさまざまな制限のある中で、子どもたちの学力向上を目指し、学習形態を工夫するとともに、学習のねらいを明確にした分かる授業や、子どもの思考を促し、考えを深め、広げる授業の実現に、各校が意欲的に取り組んでいること。さらに、各校が学習の手引き等を作成し、家庭学習の習慣化にも取り組む一方で、今後は、より一層、授業における課題提示の在り方や、タブレット端末の活用の仕方について検討し、家庭と連携した取組を進めて参りたいとお答えいたしました。

また、「基本的な生活習慣の定着」については、ここ数年、児童生徒のスマートフォンの所有率が高くなり、SNSやネット、ゲーム等の利用時間の増加が影響していることから、情報モラルの学習やスマートフォンの利用の仕方を家庭と連携・協力しながら継続して指導していくことが課題であるとお答えいたしました。

2点目の「学校に対する支援や条件整備等の充実につなげるための学校評価の活用」につきましては、教育委員会として、現在、学力向上に関する新たな共通評価項目を設け、その結果を基にさまざまな研修の質の向上に役立てており、今後も、教育活動やその他の学校運営の状況について学校評価を実施し、成果や課題を検証した上で検証した結果を踏まえ、教育委員会の各課とも連携しながら学校に対する支援や条件整備等の充実につなげて参りたいとお答えさせていただきました。

続いて、9月7日には、松田澄子議員より、小中学校における新型コロナウイルス感染症への対策について、感染者が増えた場合、できるだけ休校は避けてもらいたいが、もし、休校になっても一人一台のタブレット導入でオンラインでの学ぶ環境は整備できているのか、というご質問があり、お答えといたしましては、

今後の感染拡大により、やむを得ず短縮授業をはじめ分散登校や臨時休業措置を余儀なくされた場合については、学習用タブレットを持ち帰ってのオンライン学習により、対応することとして

おり、そのため、教員を対象としたオンライン学習に関する研修や、持帰りの実証実験を実施し、状況に応じた学びの保障に備えているとお答えいたしました。

また、除草剤・グリホサートの使用について、アメリカでは、多くの自治体が、道路、公園、学校でグリホサートの散布は禁止していますが、日本では、ホームセンターなどの店頭に置かれているが、子どもの健康のためにも今治市の小中学校校庭での使用はどうかというご質問がございました。お答えといたしましては、本年6月に小中学校に向けて聞き取りを行ったところ、年に数回程度、長期休業前や部活動のないテスト期間等に、プール裏や教職員駐車場等、主に生徒が通らない場所に、限定的に使用しているという状況で、いずれも児童・生徒の安全を第一に考え、使用場所・使用時期を考慮して行っていること。

ただ、農林水産省の登録を受けた除草剤を、安全使用上の注意を守って使用しているとはいえ、児童・生徒の健康を守ることが最も大切なことであるので、6月に状況を聞き取った後、各学校長宛に、除草剤の選定および使用方法・使用場所について、安全性へのより一層の配慮を依頼する文書を発出し、改めて注意を促したところであるとお答えいたしました。

また、9月7日に、森本真博議員からも、今治市サイクルシティ推進事業について、これからの未来を託す子どもたちに体験学習の一環として、安全面にも十分考慮し、中学生を対象に「しまなみ海道サイクリング」を実施してみてもどうか、教育委員会の考えを聞かれました。

そこで、教育委員会といたしましては、サイクリングの聖地としてのしまなみ海道を、世界有数の多島美を堪能しながら自転車で走る爽快感は、何事にも変えがたいものであり、大きな感動を味わうことができるものであり、同時に、自分たちの住む今治のすばらしさに気付き、ふるさとの良さを再発見することができるかと考えていること。そして、このように風光明媚なすばらしい景色の中を自転車で走ることができるのも、今治ならではの貴重な体験活動であると認識しており、このような機会の実現に向けて関係課と連携・協力して参りたい。また、子どもたちが安心安全なサイクリングを楽しむことができるよう、交通ルールやマナーの向上にも努めて参りたいと考えている旨、お答えさせていただきました。先月の定例教育委員会以降に開催された主な行事及び10月の教育委員会関係等の行事予定につきましては、お手元にお配りしております資料に記載しておりますので、ご確認いただければと思います。以上をもちまして、教育長報告とさせていただきます。

田坂教育長

質疑はないか問う

山本委員

タブレットを持って帰った時の対応の件ですけど、まず一点は、Wi-Fi環境がどうなっているのか。家庭によってだいぶ違うし、SIMカードをどうするのか、あるいはルーターを使って対応するのか、またそれに対する財政的な問題、そのあたりが議論されているのかどうか。タブレット端末の持ち帰りについて、議会对応では、原則持ち帰らせないと発言していると記憶しておりますけど、これを修正するのかどうか。また、回線の容量の問題が出てくるのではないかと。国立の情報学研究所は、世界的にもハイレベルの回線の準備をしていて、小学校から大学までこういった回線の利用について即応できると承知しています。

後から出てくるかもしれませんが、学校の先生にタブレット端末が配布されていないということが、意見書の中に入ってますけど、学校の先生にタブレットがないことにも驚いたんですけど、それは別にして、もし先生がタブレットを使うとなると、そこには機微に触れる大切な個人情報を含め、情報が大量にある。そうなった時には、その情報の漏洩の防止については高いレベルでリスク管理をしていかなければならない。それにも例えば情報学研究所の回線を使う。今治市自身で密封してしまう。外に漏れないように、今治市の教育委員会できちっとガードをかけて、それと学校とを繋ぐ、とゆう風なことをやっている自治体もあるように私も聞いております。その辺りの問題。あるいは情報倫理の教育の問題、そういったことを合わせて協議をしないといけないと思います。私は、今治市は相当遅れていると思っている。後発のアドバンテージは最低限利用して、そして良いことを取り入れて積極的にしていかなければならないと思います。あえて意見を申し上げさせていただきました。

田坂教育長

ただ今のご質問ですが、以前教育委員会でもお答えさせていただいたのですが、条件・状況が整い次第持ち帰りについては検討する、とお答えしました。この9月から高速回線も通りました、ある中学校をモデル校にいたしまして、持ち帰りの実証実験を行いました。そして、何校かで集計を取りまとめまして、いつどういう状況になっても持ち帰りは可能であるというような結果を得ております。全国で臨時休業等があった場合には、タブレット端末の持ち帰りということで、この際持ち帰りのバッグであるとか、Wi-Fi環境そういったものも整えて欲しいということもお願いをして、今現在持ち帰りについて備えているところでございます。山本委員さんがいろいろご心配くださいました高速回線

についても、すでに高速回線通りまして、学校ではオンライン授業も実際実施しているということも聞いています。県下でも持ち帰りについて市町に確認しましたら、3～4市は経験があるということで、県下でも持ち帰りについては検討準備をしているというような状況でした。今治市においても同じような状況で、現在持ち帰りは可能な状況でございます。

山本委員

例えば今問題になっているIDやパスワードの管理の仕方、どこかのようにIDは出席番号、パスワードは123456789、こういうリテラシー以前の問題。そんな管理の仕方をしていてタブレットを使ってもらったのでは困るんですよ。実態はどうなっていますか。

田坂教育長

まず持ち帰りに関しましては、ソフト関係、クラスルームであるとかロイノート。子供たちが掲示板を立ち上げて書き込みができるとかメールをやり取りすることはまずできない状況にしております。アカウント、IDについては、通し番号ではなくて、学校で工夫をしながら漏れないような、漏れてもわからないような工夫をして持ち帰らせるようにしております。教育委員会を中心に、持ち帰らせる場合には、一つのガイドラインを作成しておりますが、それについて再度学校とも検討し、そういったことがないように、最終作り直したものを共通理解を図りながら、持ち帰りをさせようという風に考えております。

山本委員

この件はそのようにお願いしたい。話は変わりますが、ZOOMによる全国教育委員会の会議に出席させていただきましたが、低学年の方の場合は、端末が重たいです。皆さんどうしてますか？という話がありましたけれども、やっぱり現場では色々な問題が潜んでいるので、一つ一つ改善していかなければならないですね。IDといたら自分の身分証明書ですよ。パスワードが共通して12345678。啞然としました。そういうことが絶対にないようにそれだけはお願いしたいと思いました。

田坂教育長

担当課またよろしくお願いいいたします。

片上総務課長

セキュリティについてでございますが、10,788台のタブレットに応じた児童生徒がおります。1人1人に8桁のランダムなID、6桁のランダムなパスワードを割り振っており、自分しか知りえないID、パスワードとなっております。IDやパスワードをメモしてどこかに貼るといった行為をすると、他人に見られるので、そう

いった基礎的なところからセキュリティ教育を行っているところ  
ろです。

田坂教育長

この件につきましては、再度学校と調整しながら最終的により  
高いセキュリティが保てるよう、また工夫をお願いいたします。  
他にございませんか。  
それでは議題の審議に入ります。

<議題審議>

田坂教育長

「議案第 49 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明  
を求める

結田社会教育課長

－「今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明－

田坂教育長

承認してよいか問う

－各委員－

承認する

「その他」を議題とする

田坂教育長

「その他1 今治市大三島分校・伯方分校サポートチーム設置要  
綱の制定について」説明を求める

片上総務課長

－「今治市大三島分校・伯方分校サポートチーム設置要綱の制定  
について」説明－

田坂教育長

質問はないか問う

－各委員－

なし

田坂教育長

「その他2 今治市子ども読書活動推進委員会設置要綱の制定に  
ついて」説明を求める

結田社会教育課長

－「今治市子ども読書活動推進委員会設置要綱の制定について」  
説明－

田坂教育長

質問はないか問う

—各委員—	なし
田坂教育長	他に何かないか問う
—各委員—	なし
田坂教育長	午前10時28分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

山本委員 山本 泰正

越智委員 休